



ON OFF **メリハリ** 働き方改革と
手厚い 周術期管理



当院では院長の河野を中心とし病院をあげて積極的に働き方改革を進めて参りました。

入院患者のコールは土日時間外でも主治医へ、土日も回診に来て当たり前という風習がありました。綿密なカンファレンスを定期的に行うことで各医師が当科全入院患者の状態を把握し、コールや土日の回診も当番外科医のみに集約しました。ON・OFFをしっかりとすることでOFFの医師はアフターファイブや週末を有意義に過ごせます。また時短勤務・有給取得率向上・男性外科医の育休取得なども実現して

います。このため、昔から3K(きつい・汚い・危険)の代表格である「あの」一般外科にも女性医師が複数いることなど働きやすい風土ができました。諸先輩方には想像に難いかも知れませんが、かく言う小生(男)も娘の保育園送迎のため朝遅めの出勤を了承頂いています。

当然ONである勤務中はその分忙しく医療に従事しています。各専門医資格を取得している医師が多数在籍していますのでアッペ、ヘルニア、ヘモといったありふれた疾患から、消化器癌、乳癌、肺癌など癌腫に対する幅広い手術を当院で行うことができます。

病診連携を利用した先生方からの急患また、県内トップクラスの患者受入数を誇る救命救急センターからの緊急手術案件なども、検査部・麻酔科医師・手術室スタッフの協力のもと迅速に診断を下し土日でも夜間でも手術に望むことができます。

近年では腹腔鏡手術件数増加の一途をたどり、2018年には近隣の一般病院に先んじて「ダヴィンチ」を使用したロボット支援下手術を導入し、患者様に対してますます低侵襲の手術を提供することができるようになりました。当然開腹手術も状況に応じて行っており、質も安全も

しっかりと担保した手術を行う事に尽力しています。

癌患者においては、当院では非常勤ですが化学療法専門医も在籍していますので、エビデンスに則った術後化学療法を行っています。終末期患者には転院を迫ることなく、引き続き当院緩和ケア病棟で最期まで充実した苦痛のない時間を過ごして頂いております。

紹介頂いた先生方も紹介された患者様も安心して頂けるようなきめ細やかな治療をこれからも行って参ります。

【部長】 山口直哉

日本外科学会指導医
日本消化器外科学会指導医
胆道外科学会指導医
日本がん治療認定医機構認定医
臨床研修指導医

消化器癌を中心に腹痛症例など何でも対応いたします。
掖済会病院に紹介して良かったと思っ頂けるよう、患者様に最上の治療を提供する事と、先生方への詳細な情報提供を心がけております。

